

気が利く人の特徴とその要因

1250541 山下蒼天

指導教員 三船恒裕

研究背景

気が利くという能力は、社会的動物である我々にとって、重要な要素である。しかし、関連する研究は数が少なく、まだ未解明の部分が多い。気が利く人の特徴や要因について一般的な性格特性で表すことが出来れば、より正確に捉えることが出来るようになると思われる。

研究目的

本研究では、人々が直感的に想像する気が利く人がどのような性格特性を持つのかを明らかにすることを目的とした。

研究方法

まずは気が利くという概念を定義付けるため、小規模なアンケート調査を実施した（プレテスト1）。この結果を基に、参加者の気が利く度を測定するためのシナリオを複数作成し、それらが適切であるかを確かめるため、本調査の前にプレテスト2を実施し、シナリオ中の人物が気が利くかどうかを評価した。この結果を受け、修正・追加したシナリオを用いたシナリオ実験を実施し、参加者の気が利く度を測定した。更にBIG-5の質問紙にも回答してもらい、参加者の気が利く度と、BIG-5の結果とを相関分析することで、どの性格特性がどの程度、気が利くことに影響しているのかを調べた。

分析結果

まずプレテスト1で、本研究における気が利く人の条件として、周囲をよく見ていること、先のことを考えて行動出来ることの2項目を定め、これらを満たす人を気が利く人と定義した。次にプレテスト2では全体的に、シナリオ内のような行動を取れば気が利くと言えるが、取らなくても気が利かないとまでは言えないという結果となった。最後に本調査では、参加者の気が利く度とBIG-5との相関分析から、気が利く人は協調性が高いという可能性が示された。

考察・結論

本研究の結果に加えて、先行研究によって心の知能指数を指すEQと協調性との関連性が示されていたことから、間接的に気が利く人とEQとの関連性を導くことが出来た。EQが高い人は気が利くという知見は、様々な先行研究によって指摘されており、本研究の結果も、これら知見を概ね支持する形となった。